

特定非営利活動法人手賀沼トラスト会報 第3号 (発行日：平成23年10月1日)

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎 (TEL：04-7182-0387)

編集責任者 國方幸生 (TEL：04-7184-3385)

事務所：我孫子市白山二丁目13番5号

e-mail：info@teganuma-trust.jp

ホームページ：http://teganuma-trust.jp ブログ：http://blog.goo.ne.jp/teganuma-trust/



活動報告1 (稲のハザ作り)

(9月7日(水) 合同活動)

昨夜の雨で今日の作業が心配されましたが、台風一過で秋晴れ、気温は高いがすがすがしい天気、食欲の秋です。定例活動となると参加者の少ないのが悩み、作業が平日ということもあり、心配していましたが、農教室の皆さんには連絡網をお願いした結果、25名の方々に参加して頂きました。サマータイムも8月で終了し、9月からは平常の8時30分の作業となりました。作業に先立ち遠藤先生より簡単な説明があり、また我々が日々心配している放射能汚染の件ですが、その心配はないとの説明に安心しました。一喜一憂しながら作物を育ててきた会員の皆様も先生の一言でほっとされたと思います。この問題は完全に払拭するには時間がかかりますが、先ずは一安心です。

いよいよ作業開始、すでに日暮知男さんが準備を進めており、段取りも万全、即作業に入ることが出来ました。進捗状況も良く、10時の休憩には70%位は完成した状態、かなり進行が早かったです。今年は例年と違い、ハザの方向を東西に作りました。黒米、赤米も全部一角に掛けられる様に脱穀等のスペースも完全に確保しました。今回この様な向きにしたのは何故なのか、これからの季節は西風がふくため、倒れ防止かと思えます。作業も順調に進み全員が率先しての作業の結果だと思えます。協力、団結力、人の力は何物にも勝るといえることです。10時40分には農具の手入れも終了し、11時には解散しました。定例会、農教室ともにきょうの作業進行を手本に努力したいと思います。暑い中ご苦労様でした。(大森 正 記)

9月17日(土)晴れて風強し。予定を一週間早めての稲刈り作業です。この稲刈りも5月21日の田植え祭から数えて、凡そ150日。3月11日東日本大震災、放射線の影響も各地出ている中、この稲作への取組みは4月10日の「種もみ予措」から始まりました。この150日の間には様々な水田管理の作業があり、その殆んどは水との関係でした。この水と最後までついてまわるのがお米の性質のようでもあります。今日は刈取りとハザ架け、天日干しをすることで米の含水量25%を15%にするという。日本列島、今は災害列島と命名されました。台風15号と秋雨前線が予想されています。9月24日は脱穀の日。先生は「もう一つ、この雨でお米に芽が出てしまうこともある」と言います。今日の作業で二つのことに注目しました。一つは落穂ひろい。もう一つは先生の「稲の束を乱暴に扱うな」の言葉。このふたつに共通するのはお米への感謝の気持ちだと思いました。たしかに労働によって約600kgの収穫を実現しました。しかし、お米の収穫に貢献したものは無数にあるはず。田の神さまは秋に山に帰り、春に山を降りてくる。田植えの時期には桜の花が咲き、花見にはご馳走を用意して田の神さまをお迎えする。また、「おむすび」は田の神様の恵みのお米を心を込めて結び固めると言います。田の神様と縁を結び固めると言う思いが今日の二つの出来事の中にあると思いました。

さて、12月17日は餅つき大会です。満月の名の如く、皆さんと満面の笑みでまんまるのお餅を搗きたいと思えます。最近のこと、被災地の中学生の答辞「天を恨まず、運命に耐え、支え合って生きて行く」の言葉。この言葉は歯をくいしばってのお別れと誓いの言葉でした。重く受け止めました。(中井 博 記)

【追 記】

9月24日(土)晴れ。我孫子の気温は最低13度、最高24度、絶好の脱穀日和になりました。台風の影響で乾燥が充分でないため、遠藤先生の講話、案山子コンテストの表彰、ヘチマタワシ、ヘチマ化粧水の説明等を先に行いました。10時頃から、マンゲツモチとコシヒカリはコンバインで、赤米と黒米は足踏脱穀機で作業を開始、それぞれベテラン会員が指導しながら順調に作業が進行しました。その傍らで、ワラボッチも積みあがって行きました。例年に比べ参加者が少なかったこともあり、休憩を取りながらもペースダウン。お昼に日暮さんの奥様が用意して下さった赤飯と女性会員の方が即席で作って下さったゴーヤのサラダで元気をとり戻し、16時頃には何とか作業を終えることができました。お疲れ様でした。(國方 幸生 記)

【結 果】 収量と水分量

マンゲツモチ	370.6kg (玄米)	機械乾燥後	15.5%
コシヒカリ	123.3kg (玄米)	天日乾燥後	16.4%
黒 米	111.1kg	天日乾燥後	15.9%
赤 米	51.9kg	天日乾燥後	14.7%

ホームページのリニューアル オープンについて

今年7月にNPO法人の認証を取得したことに伴い、ホームページのリニューアルの作業を進めてまいりました。この度、10月1日付で新しいホームページに生まれ変わりました。ホームページは手賀沼トラストの理念、目的、事業内容、活動状況などの情報を広く内外に発信するための情報基地としての役割を担っております。会員の皆様に最新情報や活動スケジュールの変更などをタイムリーにお届けしたり、イベントやトラストサロンのご案内などを掲載し、皆様楽しくご覧頂き、親しまれるホームページを作りたいと思っております。

新しいHPアドレス：<http://teganuma-trust.jp>

- ・古いアドレスにアクセスすると自動的に新しいHPにジャンプします。
- ・会報「沼のほとり」の閲覧パスワード：tt2525 (Teganuma Trust ニコニコ)

新しいメールアドレス：info@teganuma-trust.jp

(事務局広報担当 村山 正 記)

日本ミツバチの話（その1）

還暦を過ぎて、つらつら自分の性癖について考えてみると、ある傾きというか偏りが、つまり変な癖があることに気がついた。仕事をやめて、他人との交渉がめっきり少なくなり、皺のふえた女房の顔を見るよりほかにすることがなくなってみると、自然とおのれを観察し始めるのだろうか。女房の顔とちがって自分の顔は見えないから、性格とか性癖とかいった自分の内部に目が向くらしい。

どうも私は野生のものを採ったり捕ったり獲ったりして食べるのが好きらしいのだ。母からの遺伝に違いない。田舎育ちの母は散歩のついでによく露のとうや野蒜を摘んで帰ってきたものだ。他人の畑であっても、へりに生えていればかまわず採ってくる。そんな母の姿が子供心にすりこまれたのだろう。

女房は、私が椅子にふんぞりかえって物を食べてぼろぼろとこぼすのを母とそっくりだと言う。実家に帰ったときに、こたつに入った母を観察したら、坐椅子に寄りかかって煎餅をかじる母のこぼすことこぼすこと、挙句の果てに胸から腹にかけて散らばった煎餅かすを手でぱっぱと左右に払って一件落着、涼しい顔をしている。なるほど、これが俺の原像か、女房の炯眼というか悪意ある観察に恐れ入ったこともある。

私の野生採取という性癖の最初のあらわれは釣りである。はじめはフナを釣ったりしていたのだが、フナは美味くない。かといって、キャッチアンドリ

リースというのは私の性分にあわない。何か嘘くさいのである。獲ったら食べよ。脈々と受け継がれてきた縄文の血が私に命ずるのである。

つい最近、ヤギを飼おうと思った。ヤギなら乳が飲める。餌の雑草ならいくらでもある。これはいいと『ヤギ飼いになる』という本を買った。すると、ヤギが乳を出すのは1歳から8、9歳まで。そのあと15歳まで生きるという。乳の出なくなったヤギを何年もどうするのか。娘が「お父さん、運動不足解消にヤギと散歩したら。ついでに道端の草を食べさせれば除草にもなってみんなに喜ばれるわよ。ヤギを散歩させている老人なんてめったにいないからヤギ爺さんなんて呼ばれて人気者になるかも」という。冗談じゃない、誰がヤギ爺さんなんて呼ばれたい！ 縄文人は、乳を出さなくなったヤギはつぶして食べるのだ。でもなあ、やっぱりつぶせないだろうな、ヤギは。娘が縁日で買って来たひよこが大きくなって処分困ったあげく、こっそりつぶして食べたことはあるが……。ヤギはなあ。というわけで、ヤギを飼う計画は頓挫した。

閑話休題。釣りの話に戻ります。というところで、編集長から指定された字数を越えてしまいました。食べられる魚を求めて、溪流の奥深く分け入る話は次号。

（必ずハチの話になりますから、もう少しご辛抱ください。）
（富澤 崇 記）

『 規程類・様式類の制定について 』

NPO 法人認証取得にあたって、今後の法人の運営を関連法規、定款等に即して行うため、法人化準備プロジェクトチームで議論を重ね、第1回定例理事会、第2回定例理事会で審議を頂いて、下記の規程類及び様式類を制定いたしました。規程集・様式集は役員、各グループリーダー、サブリーダー、運営スタッフの方々に配付しました。また、常時閲覧できるように事務所並びに日暮家の事務局ロッカーに備え置きますのでご活用ください。なお、不明な点等がございましたら事務局（國方）にご確認ください。

規程集：定款、規程管理規程、組織規程、会議規程、文書管理規程、提案制度規程、会員規程、個人情報保護方針、安全管理規程、旅費交通費規程、経理規程、金銭出納管理規程

様式類：月次活動計画書、月次活動報告書、文書受信記録、文書発信記録、理事長印・法人印押印依頼書、提案用紙、入会申込書、退会届、出張・研修等申請書、出張・研修等報告書、旅費交通費精算書、経費精算書、仮払申請書、支払証明書、その他会計伝票類等

議事録：総会、理事会、安全管理委員会の議事録を事務所及び日暮家事務局ロッカーに備え置きます。

（事務局 國方 幸生 記）

● 9 月度 活動報告

活動日	活動区分	担当部門	参加者	活動内容
9/7 (水)	定例	環境保全 G	25 名	ハザ作り
9/10 (土)	農教室	農事・農教室 G	47 名	救急箱・応急手当の説明、秋冬野菜播種、そばの培土ナス、キュウリ、ゴーヤ収穫、ヘチマ水採取
9/17 (土)	合同	農事・農教室 G	78 名	稲刈り (生育状況と天候を考慮して、1 週間前倒し)
9/22 (木)	臨時	農事・農教室 G	7 名	台風対応 (ハザの補強) 倒壊したハザの架け替え
9/23 (金)			13 名	
9/24 (土)	合同	農事・農教室 G	53 名	稲の脱穀 (16 時終了) 案山子コンテスト表彰式
		交流事業 G		

● 10 月～11 月度 活動計画 (活動時間：8 時 30 分～12 時 00 分)

活動日	活動区分	担当部門	活動内容	留意事項
10/1 (土)	農教室	農事・農教室 G	秋冬野菜の管理、ゴマの袋詰め エゴマ、ラッカセイの管理	
10/5 (水)	定例	環境保全 G	樹林地 (根戸城址) 管理	台風の影響で倒木や枯枝が散乱している。
10/8 (土)	農教室	農事・農教室 G	サツマイモ、ネギの収穫他 秋冬野菜管理、城址圃場耕起	
10/15 (土)	外部	交流事業 G	手賀沼流域フォーラム全体会議で「冬水田んぼ」の事例発表	
10/17 (月)	研修	農地保全 G	農業機械体験研修 (農業大学校)	
10/19 (日)	研修	農地保全 G	農業機械体験研修 (農業大学校)	
10/22 (土)	合同	農事・農教室 G	そばの刈取り、ハザ架け天日干し サツマイモ収穫	
11/2 (水)	定例	環境保全 G	樹林地 (根戸城址) 管理 (下草刈り、枯枝の片付け)	
11/5 (土)	合同	農事・農教室 G	そばの脱穀	
	農教室	農事・農教室 G	ネギ、秋野菜収穫	
11/19 (土)	農教室	農事・農教室 G	サトイモ、ヤーコン、秋野菜収穫	
11/25 (金)	合同	交流事業 G	そば祭りの準備、秋冬野菜収穫	ご都合の付く方お手伝い下さい。
11/26 (土)	合同	交流事業 G	そば祭り	雨天の場合は 27 日に順延

運営スタッフ募集

- 環境保全グループ 連絡先：寺田 太郎
みかん山の温州みかんの木と周辺の管理は、定例活動日だけでは不十分です。現在、金井さんが適宜見て下さっておりますが、美味しいみかんを作るために、金井さんの指導のもと日常的に管理して下さる方を求めています。試食可です。是非ご応募ください。
- 事務局 連絡先：國方 幸生
HP・ブログの管理をお手伝い頂ける方探しております。ご応募お待ちしております。

編集後記

台風の影響でハザが一部倒壊したり、そばが倒れたり、根戸城址の杉や竹が倒れ、小枝が散乱するなど、多少の被害がありましたが、大事に至らず、先ずは一安心。

稲刈り、脱穀はそれぞれ一週間繰上げて実施しました。小中学校の運動会とバッティングしたこともあり、参加者が例年より少なく作業はかなりハードでしたが、皆さんの頑張りで無事終了しました。

金木犀が薫りはじめ、いよいよ秋本番です。農作業、樹林地管理に忙しくなりそうです。(國方記)